

## みんなの給食 ～給食からSDGsを考える～

「SDGs」とは、サステイナブル・デベロップメント・ゴールズの略称です。“持続可能な開発目標”を意味し、「今だけでなく、未来まで、すべての人が平和で豊かに暮らし続けるために、世界を良くする目標」といえます。2030年までに「誰一人取り残さない社会」を実現するための世界共通の目標です。

今、地球上では、「経済」「社会」「環境」それぞれに関連した問題が起きています。この問題を解決する術がSDGsであり、一人ひとりが「自分ごと」として捉え、身近なことから少しずつ取り組むことが大切です。

江戸川区は、「SDGsの理念＝江戸川区が目指す共生社会の考え方」と捉え、「子どもから熟年者、障害のある方や外国籍の方など、さまざまな皆さんが、安心して自分らしく暮らせるまち」を実現させるためにもSDGsを推進しています。

普段の何気ない生活の中でも、実はSDGsに繋がっている行動があります。このたび、児童生徒のみなさん、保護者のみなさん、地域のみなさんが、学校給食とかかわる取り組みからSDGsを考える機会となるよう「みんなの給食 ～給食からSDGsを考える～」を実施することとしました。令和4年2月の給食で、全小中学校が「みんなの給食」の日を設け、「SDGs」を発信します。この機会に、ぜひ、ご家庭や地域でも話題にしてみてください。



SDGs未来都市  
EDOGAWA

### 江戸川区の給食の取り組みから

3 すべての人に  
健康と福祉を



#### たとえば、成長期に必要な栄養バランスのとれた給食

- 各学校の栄養士は、和食を中心に、1食1食が家庭の食事の参考になるように献立を立てています

11 住み続けられる  
まちづくりを



#### たとえば、地場産物を積極的に活用した給食

- 江戸川産小松菜を地元の農家さんから直接購入して使用しています
- 東京都の水産物等も積極的に使用しています

12 つくる責任  
つかう責任



#### たとえば、環境を考えた給食

- 丁寧な調理で、食材の廃棄を少なくする工夫をし、仕方なく出てしまった生ごみは、養鶏場等で活用される飼料にリサイクルしています
- 強化磁器食器の導入をすすめ、破損してしまった食器はリサイクルしています
- 食器や調理用具の洗浄に使用する洗剤は、合成洗剤を極力少なくし、石けん分を含む洗剤を使用しています